

# ほんべつ 議会だより

No.84

平成30年2月1日発行



## 2018年を元気にスタート

1月3日 本別町スピードスケート記録会 (町民スケートリンク)  
1月4日 幼児スケート教室

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123  
FAX 0156-22-2147

## 第4回定例会

### 既存建築物等の省CO<sub>2</sub>改修支援事業に係る補正予算のほか、全14議案を可決

平成29年第4回定例会は12月5日に開会し、一般質問のほか、既存建築物等の省CO<sub>2</sub>改修支援事業に係る補正予算など一般会計他8会計の補正予算、また、本別町介護福祉士修学資金貸付条例の一部改正などの審議を行い、全て原案通り可決しました。

審議された主な内容は次のとおりです。

### 一般会計補正

#### 既存建築物等の省CO<sub>2</sub>改修支援事業

町が、体育館、国保病院など複数の公共施設を一括して省CO<sub>2</sub>改修（LED化・ボイラーアー等の改修）を行う構想を立て、その構想を基に、民間事業者が設備を整備し、その設備を町が概ね10年間一括賃借する事業です。

今回の補正は、改修によるCO<sub>2</sub>削減の効果、一括設備賃借を活用した場合の費用対効果等を調査するものです。

提案時での試算では、LED等の交換費用総額で1億1,844万2千円ですが、

削減効果は電気料金と燃料費など、年間約1,350万円と見込んでいます。

調査設計委託料として約1,150万円を計上しているが、どのような業者を選定するのか。

**答** CO<sub>2</sub>削減効果や設備投資への効果などを調査報告書にまとめる業務があります。その報告書を取りまとめるコンサルティング能力を持つ会社を選考しますが、地元の電気工事会社や設備会社に加わってもらいたいながら委託先を選考していきます。

①今回の裁判で明らかとなつた2件分、1,400円についても、損害賠償請求の手続きに入ります。

**答**

②損害賠償請求を行うにあたつては、公費を支出することになる。それらを含めて損害賠償を求める考えはあるのか。



LED化が計画されている町体育館



法人化、わたしたちモ～がんばるわ

### 農業経営力向上支援事業

①元職員に対する補助金として40万円を計上しているが、内容は。

### 農業経営の法人化

②損害賠償請求を行うにあたつては、公費を支出することになる。それらを含めて損害賠償を求める考えはあるのか。

### 農業経営力向上支援事業

②損害賠償請求の手続きなどにかかる経費も含め、法的にどこまで請求できるか、弁護士の意見を聞きながら進めます。



## 既存建築物等の 省CO<sub>2</sub>改修支援事業とは…

2030年のCO<sub>2</sub>削減目標達成に向け、リース手法を活用しLED照明などの機器の導入支援と地元中小企業の育成を目的とする補助事業で、概ね10年間のリース代、約1億3千万円のうち、およそ5,100万円が国より補助されます。



### 平成29年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(9,335万7千円) 68億7,836万4千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性あるふるさとづくり基金積立（寄付金）</li> <li>・社会保障・税番号制度に係るシステム改修</li> <li>・介護給付・訓練等給付事業費の増</li> <li>・既存建築物等の省CO<sub>2</sub>改修支援事業</li> </ul>
特 別 会 計	国民健康保険 (△121万8千円) 14億6,993万7千円	介護納付金の確定
	後期高齢者医療 (△80万8千円) 1億2,178万4千円	北海道後期高齢者医療広域連合負担金確定
	介護保険事業 (800万8千円) 10億1,900万円	地域包括ケアプロジェクト推進事業の拡大による増
	介護サービス事業 (△9万9千円) 2億9,007万5千円	前年度繰越金確定による調整
	簡易水道 (△273万5千円) 1億3,777万3千円	美里別簡易水道機器更新工事確定による減
公 共 下 水 道	(△3,234万3千円) 5億399万3千円	下水道汚水管渠新設工事等の確定による減
水道事業会計	(1,988万2千円) 3億248万円	上水道第1取水施設災害復旧工事による増
病院事業会計	(△722万3千円) 14億6,815万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設等整備基金積立（寄付金）</li> <li>・賃借料及び委託料の調整</li> </ul>

答  
地域包括ケア研究所  
所（所長…諏訪中央  
病院名誉院長 鎌田實氏）  
と連携し事業を進めていますが、特に介護・医療人材の確保、また、移住・定住につなげるため、本町の包括ケ

問  
同事業の詳しい内  
容を。

### 介護保険事業特別会計補正 地域包括ケアプロジェクト推進事業

アの取り組みや本町の良さなどを知つてもらうため、ホームページサイトを立ち上げ、町内外に発信していきます。

本別町介護福祉士修学資金貸付条例の一  
部改正

### 条 例 改 正

問

（改正前の条例内容は、議会

だよりNo.81

平成29年5月

号に掲載しています）

条例改正は、「ただし、特に町長が認める場合はこの限りでない」という文章の追加のみとなつ

ているが、本別高校卒業生以外にも範囲が広がるのでは。

答  
本別高校卒業生を対象とするように、本条例の規則に明記することとしています。



介護の仕事を知るためのミニ講話（平成29年6月7日本別高校）



創作劇「ともに地域で暮らす」

**高橋議員** 町長は10月定例会において、6期目のまちづくりビジョンを施政方針で述べています。町民参加のまちづくりの推進を求めて以下2点について伺います。

①共生・協働のまちづくりを進めるために、また、元職員の不祥事の反省のもとに自治基本条例を制定する考えはないか。

②女性の感性、だとか、それぞの課題だとか、悩みとかを横断的に協議できる場を持つことは大事だと思いますので、関係団体などと連携を取り組みます。

# 一般質問

5人の議員から6問



高橋利勝議員

**答** 真に住民にとって必要な条例となるよう取り組みます

## 行 政

②女性がまちづくりに果たす役割は大きいと思います。過去にあつた女性みらい会議のような女性まちづくり会議を組織する考えはないか。

### 高橋町長

①自治基本条例の制定を進めるという必要性は十分に認識しています。自治

基本条例のかなめとされる住民と協働によるまちづくりを進める上で、真に住民にとって必要な条例とするため、調査を継続して、制定時期やその内容について見きわめています。

①共生・協働の

まちづくりを進めるために、また、元職員の不祥事の反省のもとに自治基本条例を制定する

考え方はないか。

近年は、人口

減少が著しく、あらゆる施策に支障が出ることが危惧されます。

本町の基幹産業である農業を軸とした雇用を生み出す施策の展開を図り、人口減少対策の一助となる予算編成が必要だと思います。



TMRセンターのパンカーサイロ（美里別西上）

年明けには示されるであろう地方財政計画を踏まえた中で、本町の基幹産業を



大住啓一議員

**答** JVAなどと連携し、雇用創出を図ります

## 人口減少対策に効果的な予算編成の考え方

である農業を軸とした雇用を生み出す施策の展開を図り、人口減少対策の一助となる予算編成が必要だと思います。

**高橋町長** 人口減少対策が予算編成にとっても重要な要素となっています。

本町の農業の現状は、農家戸数の減少等がありますが、関係機関と農業者との協力でまた、人口は予算編成に大きなウエートを占める地方交付税を算出する上

で、重要な要素であると認識しています。

近年は、人口減少が著しく、あらゆる施策に支障が出ることが危惧されます。そこで、新たな雇用の創出が期待されています。引き続き、農業大学校やJA本別と協力・連携し、人材育成、担い手確保対策の施策を検討していきます。

## 元町職員の実刑判決後の対応は

答 会議・行事などの際に説明します

**大住議員** 元町職員には、12

月4日の公判で懲役3年6ヶ月、追徴金650万円の実刑判決が出されました。信頼の失墜は甚大であり、町民の皆さんに多大な迷惑をかけ、また、役場職員の士氣にも大きく影響していると思います。

今定例会での行政報告などにおいて説明がありましたが、業務上横領について、不納欠損処理したことや、町民の皆さんへの説明や納税者の方々の相談、更に事件の責任をどの様に感じ、ご自身の処分も含め、どの様に対処するのか伺います。

**高橋町長** 元町職員が実刑判決を受けたことは厳粛に受けとめ、重大さを痛感しています。

町民の皆さんへの説明については、これまで通り会議や行事の際に細かく説明していきます。納税者への相談は、警察か



ら書類が戻り次第、相談窓口を開設したいと考えています。

自分の処分は、今まで2回行いましたが、法律の専門家と協議していくこと、また、事件の収束に向けて全力で取り組む事が責務であると考えています。

## 移住・定住対策の強化で人口減対策を

答 町内関係機関と連携し、受け入れ体制の強化を図ります



阿保静夫議員

**阿保議員** 3町で移住サポートセンターを設けて情報発信

しています。平成29年度のお試し住宅利用者は合計16人、平均年齢は53歳でした。

①移住フェアなどでは、どのようなニーズがありますか。また、それに応える対応は。

②福祉でまちづくりとの関連付けは重要です。また、定住を図る年齢層についての考え方。

③長期お試し住宅は「家具家電なし」ですが、必要最小限の設置はすべきでは。

②子育て世代などの受け入れは重要ですが、現時点では幅広く取り組んでいます。また、介護職の確保

は重要ですが、現時点では幅広く取り組んでいます。また、介護職の確保対策を進めています。さらに町内関係機関と連携し、受け入れ体制の強化を図ります。

③議論が分かれている現状ですが、必要な対応を進めていきたいと考えます。



中期お試し住宅（山手町）



# 暮らし



交通安全を呼びかける母の会作成チラシ

本別町の交通安全対策については、本別町交通安全推進委員会を中心として進められています。構成組織には、高齢化が進み続が危ぶまれている団体があります。本町の交通安全対策には欠かせない組織と思われますが、町長の考えを伺います。

① 本別町交通安全推進委員会は、現

黒山議員



黒山久男議員

**高齢化が進む中での本町の交通安全対策について  
交通安全推進委員会を中心として今後も組織の存続に向け努力します**

答

交通安全推進委員会を中心として今後も組織の存続に向け努力します

在12名で活動しています。高齢化等で各種事業への出動も大変と伺っていますが、組織の存続の考えは。

② 本別町交通安全母の会は結成して38年が経過しましたが、結成40年をめどとして解散を検討していると伺っています。家庭からの普及活動の展開は必要と考えますが。

本別町の交通安全対策については、本別町交通安全推進委員会を中心として進められています。構成組織には、高齢化が進み続が危ぶまれている団体があります。本町の交通安全対策には欠かせない組織と思われますが、町長の考えを伺います。

① 本別町交通安全推進委員会は、現

の皆さんの歴史の重みも大切にしながら、会員の増加に向けて努力させていただきま

す。

**高橋町長** ① 交通安全指導員の現状と今後の課題は。

② 重度の方が住むグループホームでは、スプリンクラー設置等の施設整備に経費がかかります。創設を考えている団体等へ後押しをする考えは。

③ 事業所に運営推進会議の設置を呼び掛けて、地域の中で円滑な運営ができるようサポートしていきます。

**藤田議員** 障がい者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、グループホームの重要性は増していますが、施設整備について伺います。

① 本別町のグループホームの現状と今後の課題は。

② 重度の方が住むグループホームでは、スプリンクラー設置等の施設整備に経費がかかります。創設を考えている団体等へ後押しをする考えは。

③ 地域住民の理解を得るためにグループホームの必要性など、周知・啓発活動により一層支援していくべきでは。



高橋町長 ① 12月1日現在、全員が町外の施設を利用しており、今年度中に計画にある16人分中8人分が確保される予定です。今後の基盤整備は、策定中の第5期障がい福祉計画の中で示します。

答

今後の基盤整備は、第5期障がい福祉計画で示したい



# 福祉



**意見書**

第4回定例会では2件の意見書が提出され、可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

**道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべりの子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書**

新指針については、高校間格差、地域間格差等を抜本的に見直すこと。  
2. 地域の高校や定時制高校を先行的に30人学級にすること。  
3. 地域キャンパス校については、「2年連続20人を下回った場合は統廃合をする」とする基準の改悪をしないことなどを求めます。

提出者 黒山 久男  
可決

**日欧EPA「大枠合意」の全容を明らかにし、先行的な「暫定効果」をしないことを求める意見書**

大枠合意には、ヨーロッパ得意とする加工食品の関税撤廃・削減が多くあります。加工食品として輸入される北海道の農産物の行き場が狭まり地場の食品加工業を脅かすことにもなるため、暫定発効しないことを強く求めます。

提出者 阿保 静夫  
可決

**本別町元職員起訴に係る公判の結果**

第4回公判（10月24日）において、検察側から元町職員に対し、懲役5年、追徴金650万円の求刑がなされ結審し、12月4日の判決は

**※議員協議会（12月27日開催）の審議を経て町民報告会開催へ**

- ①町民報告会
- ・開催日：2月7日（水）
- ・場所：町体育館中競技室
- ・期 間：2月1日～28日の平日（9時～17時、18時30分より13日に災害時における協定書を浦幌町と締結いたしました。
- ②税の収納相談窓口の開設
- ・期 間：2月1日～28日の平日（9時～17時、18時～20時まで）
- ※2月3日、4日、10日、11日の土日は、いずれも9時～17時まで
- ・場所：役場消防講堂
- （子ども未来課隣）



新年度に見直される防災ガイドマップ

普通交付税は、平成28年度から段階的に導入されており、「トップランナー方式」の拡大等による影響も考慮し、25億1千万円（前年度決算見込比1億5,700万円減）で試算しています。歳出は、引き続き行政改革推進計画、事務事業評価の確実な実施及び前倒しを指示しています。

一般会計は、72億円程度を見込んでいますが、本町の個性と元気が發揮、発信できるよう、町民と協働してまちづくりを展開したいと考えています。

第4回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

第4回定例会において、町長から行政報告がありました。

決では、懲役3年6ヶ月、追徴金650万円が言い渡されました。

町としては、控訴の状況を確認（12月14日付で控訴）し、引き続き、退職手当の返納請求、町の損害金に係る法的手段等について弁護士と協議をしていきます。

### 浦幌町との災害時の協力に関する協定書締結

浦幌町から許可される避難所等は、上浦幌中央小学校など5箇所で、使用する際は、事前に避難者の人数、避難予定期間など連絡の上、許可となります。

今後も災害から町民の生命と財産を守る立場から、避難体制を確立していくま

利別川上流域で72時間の総雨量を308.1ミリ（現行203ミリ）で想定したシミュレーション図を作成したことから、新年度において、それに対応したハザードマップを作成する予定としています。

しかし、市街地区では浸水想定区域の拡大が懸念されることから、上浦幌地区への避難も視野に入れる必要があると判断し、10月13日に災害時における協定書を浦幌町と締結いたしました。

今年度に見直される防災ガイドマップ

### 総合的な介護人材確保対策

医療・介護などの人材確保は依然、厳しいことから、人材確保の裾野を広げていく必要があります。このことから、介護福祉士修学資金貸付事業について、「本別町外から通学している本別高等学校の生徒」も事業の対象者とするよう拡充を考えています。また、人材確保・育成のための情報を発信するため、「本別町の応援・宣伝サイト」を制作・運用し、人材の確保に取り組みたいと考えています。

引き続き、医療・介護などの人材確保に向け、多様な施策を総合的に取り組んでいきます。

# 委員会レポート

## 障がい者福祉審議会

調査日／平成29年11月6日

○銀河福祉タウン計画に関する障がい者福祉の現状と

今後の計画について

1. 障がいのある人の状況

(平成29年3月現在)

身体障害者手帳の交付者は、493人で、うち重度障がいの方は224人となっています。また、療育手帳交付者は、114人、精神保健福祉手帳の交付者は36人となっています。

2. 障害福祉サービス支給決定者のサービス利用状況

(平成29年10月現在)

サービスは「介護給付」「訓練等給付」に位置付けられ、それぞれ、利用の仕方が異なります。町内で計画相談や就労継続支援B型などのサービスを受けている方は延77人、また、町外でサービスを受けている方は延136人です。

宅以外で暮らしたい」と希望している方が6名いるため、引き続き検討していきます。  
平成29年度調査では、「自分で延136人です。

町内には、居住系サービス（施設入所支援、グループホーム）はありませんで

ス（施設入所支援、グループホーム）はありませんで

4床のグループホーム（民泊）が開設されました。間）が開設されました。推進策としては、二一

ズを見極めながら、基盤整備を検討し推進していくま



障がい者福祉で所管事務調査（11／6）

3. 生活を支えるために必要なサービスの確保と充実  
(重点課題の推進)

(1) グループホームの創設機関と連携し就労支援の拠点化、職場適応援助者（ジョブコーチ）との連携強化、十勝障がい者就労・生活支援センター「だいち」と連携したネットワークの構築強化が必要と考えています。

(2) 障がい者雇用と就労支援促進するために、就職の意向確認から就労後も一貫した就労支援体制の整備が必要とされます。

今後の課題として、関係機関と連携し就労支援の拠点化、職場適応援助者（ジョブコーチ）との連携強化、十勝障がい者就労・生活支援センター「だいち」と連携したネットワークの構築強化が必要と考えています。

### まとめ

就労にあたっては、一般就労、就労継続支援A型により、障がい者の生活の向上を図っていくことが大切だと思います。そのためには企業等の協力が必要だと思いますので、障がい者の取り組みにさらに参加していただけるよう望みます。

## 議会改革・活性化の取り組みとして、賛否の分かれた議案の表決の公表をしています。

平成29年中に開催された本会議では、町提出議案80件、意見書10件など計124件の採決が行われました。今回掲載するのは、賛否が分かれた議案（投票による採決を除く）のみですが、掲載以外の議案については、全て全会一致で可決されています。

・平成29年定例会・臨時会で審議された議案等の議員別賛否状況一覧（賛否が分かれたもの）

議員名及び議決結果	矢部 隆之	藤田 直美	篠原 義彦	大住 啓一	山西 三三夫	黒山 久男	小笠原 良美	方川 英一	林 武	阿保 静夫	高橋 利勝	方川 一郎	議決結果
													議長認定
定例会 3／24 平成29年度本別町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	可決
定例会 12／5 平成28年度本別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	認定

※賛否の欄

○：賛成、×：反対、欠：欠席

※議長は採決には加わりません

# 行政視察

## 総務常任委員会

調査日／平成29年11月1日

### ○定住・移住事業の取り組みについて（栗山町）

#### (1) 栗山町の概要

明治21年開拓の歴史が下さ

れ、農業を基幹産業とし、

商業、工業、産業のバラン

スが取れた田園都市として

発展。現在の人口は12,

091人です。

#### (2) 栗山町の取り組み

##### ①ぐりやま移住促進協議会

移住希望者を対象とし、

栗山町における生活体験を

通し移住を促進することに

より、地域振興及び交流人

口の拡大を図っています。

△主な事業△

・くりやま暮らし体験事業

・移住促進に関する各種事

業の実施

・その他移住促進のために

必要な取り組み

平成28年度決算は、事業

費（フェア出展料等）約1



定住・移住の取り組みを研修

②ぐりやま暮らし体験事業  
栗山町に移住を検討している方に、一定期間実際の暮らしを体験していただき、施設への具体的な検討に繋げています。（体験期間は原則1週間から1ヶ月、体験施設は5施設）平成28年度の利用者は、32件71人でした。

利用者の傾向として、近年関西圏からの利用が増えしており、60代以上の高齢者の利用が8割を超えていました。

・民間賃貸住宅家賃助成  
平成27年度からの実績は、新規住宅取得助成4件、中古住宅取得助成4件、中古住宅リフォーム助成1件、民間住宅家賃助成22件となっています。

##### ④その他の移住・定住対策

・空き家バンク制度の創設  
・移住相談、フェアへの参加

・若者、子育て世代向けく

りやま暮らし体験モニタ

ー事業

・移住体験型モニターツア

・くりやま若者シティプロ

モーションによる移住、

定住促進事業など

76万円など、合わせて約330万円となっています。

### ②ぐりやま暮らし体験事業

栗山町に移住を検討している方に、一定期間実際の暮らしを体験していただき、施設への具体的な検討に繋げています。（体験期間は原則1週間から1ヶ月、体験

施設は5施設）平成28年度の利用者は、32件71人でした。

則1週間から1ヶ月、体験

施設は5施設）平成28年度の利用者は、32件71人でした。

・新築住宅取得費用助成

（最大120万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大30万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大60万円）

・新築住宅取得費用助成

（最大120万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

栗山町に移住する40歳未満の方、もしくは中学生以下の子と同居される方に対する住宅支援制度を創設する住宅支援制度を創設

### ③若者移住促進助成制度

栗山町に移住する40歳未満の方、もしくは中学生以下の子と同居される方に対する住宅支援制度を創設する住宅支援制度を創設

・新築住宅取得費用助成

（最大120万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大30万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大60万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大120万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成

（最大30万円）

・中古住宅取得費用助成

（最大60万円）

・中古住宅リフォーム助成



職員住宅を改修した体験施設を視察

## 議会用語の解説

### 『少數意見の留保』

委員会における表決

の結果、多数を得られず廃棄された意見で、

本会議における審議の際、委員長が行う委員会の結果報告と合わせてそれを報告する権利

を保持しておくことを

言つ。

・なお、少數意見とし

て留保するためには次

のような条件があります。

・それを報告する権利

を保持しておることを

言つ。

・なお、少數意見とし

て留保するためには次

のようないいふ

て世代と対象を明確にし行

われています。

・栗山町の移住、定住事業

は、40歳以下の若者、子育

て世代と対象を明確にし行

われています。

・栗山町の移住、定住事業

は、40歳以下の若者、子育

て世代と対象を明確にし行

われています。

・栗山町の移住、定住事業

は、40歳以下の若者、子育

て世代と対象を明確にし行

われています。

## 産業厚生常任委員会

調査日／平成29年11月9日

○住まいと医療・介護サービスの連携「サービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）の取り組み」

(1) 奈井江町立国保病院の概要

開設・昭和37年5月  
延床面積・6,489.64m<sup>2</sup>  
(うち3階の1,150m<sup>2</sup>をサ高住に改修)

病床数・50床

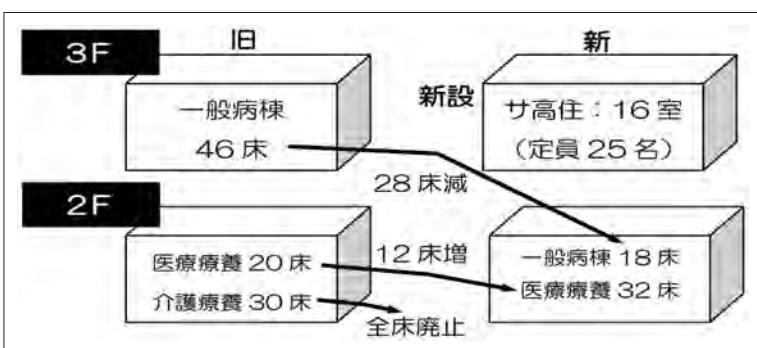
診療科目・内科、整形外科、眼科、小児科

常勤医師・4名（内科3名、整形外科1名）

職員総数・82名（職員57名、パート25名）

(2) サ高住開設に向けて

- 将来の人口構造を見据えて、適正な病床のあり方の検討を行う
- 地域医療構想における2025年に向けた病院の役割、機能の明確化
- 地域包括ケアシステムの推進（包括ケアの柱に「住まい」が位置付け）
- 地方創生による「奈井江



### (3) 病棟再編の内容

この4点を踏まえ、生活の根幹である「住まい」を行った。病院内に開設することで、医療と介護の一体的な提供による地域包括ケアシステムの充実を目指し病棟再編を行った。

### (4) 開設費用

	事業費（単位：千円）				
	総額	病床機能補助	介護基盤補助	地方創生交付金	一般会計及び病院会計
委託料	2,592				2,592
工事費	120,599	33,460	17,352	11,500	58,287
備品費	10,197		1,560	8,000	637
計	133,388	33,460	18,912	19,500	61,516



サービス付高齢者向け住宅を視察（奈井江町立病院内）

### 平成29年傍聴者数

会議名及び開催数	男	女	計
第1回定例会（5日） (内ナイトー議会)	30 (20)	3 (3)	33 (23)
第2回定例会（3日）	29	3	32
第3回定例会（4日）	25	2	27
第4回定例会（3日）	9	0	9
小計	93	8	101
第1回臨時会（1日）	2	0	2
第2回臨時会（1日）	1	0	1
第3回臨時会（1日）	1	0	1
第4回臨時会（1日）	3	0	3
小計	7	0	7
議会運営委員会（16回）	0	0	0
総務常任委員会（7回）	2	2	4
産業厚生常任委員会（16回）	1	4	5
広報広聴常任委員会（17回）	0	0	0
小計	3	6	9
予算審査特別委員会（3回）	3	0	3
決算審査特別委員会（2回）	4	1	5
議員協議会（23回）	26	0	26
町民懇談会（6会場）	52	11	63
小計	85	12	97
合計	188	26	214

### (5) サ高住の概要

入居室は、単身用23m<sup>2</sup>が9室、夫婦兼单身用35m<sup>2</sup>が7室、計16室あります。スタッフは、介護職3人でローテーションを組んで常日勤しています。

### まとめ

要介護者や認知症高齢者などが増加した場合でも、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「新たな地域包括ケアシステム」づくりに取り組まれており、サ高住は引き続き安心して暮らせる拠点施設として位置付けられています。

入居費は、公立病院内の設備であり、町営住宅との同様に公的賃貸住宅としての役割を持つことから、低所得者にも配慮した入居費等の設定としています。（主な設備は、入居室、浴室、食堂、ラウンジ）

・ 単身者・月額7万200円  
・ 浴室、食堂、ラウンジ

## 議会運営委員会

調査日／平成29年11月13日  
～15日（当別町、新篠津村）

### 一般質問、予算・決算の運用について（議会改革）

#### ／当別町議会

##### (1) 会派と政務活動費

当別町議会は定数15人で4会派があり、各会派から議会運営委員を選出し、議運で調整しながら進めていきます。また、議員1人月1万円の政務活動費が支給されています。

##### (2) 一般質問方式は選択制

①一括質問一括答弁方式か、②一問一答方式を選択できます。

①は質問回数3回まで、  
②は1回目、一括質問一括答弁、2回目から一問一答方式で、項目ごとに3回まで行えます。なお、一般質問の町長答弁書は「議員資質向上のために」要求しないとしています。

##### (3) 予算は会派代表質問あり

予算審査は、会派代表が担当部署ごとに審査を行います。また、ます。

#### まとめ

当別町議会は、一般質問は回数制限はあるものの、細項目ごとに質問ができる



当別町議会で研修

ことは先進的であり、傍聴者にもわかりやすいものと言えます。また、予算審査では、理事者、教育長への代表質問ができるとなつてはいる点は本町にはないものでした。

### 一般質問、予算・決算の運用について（議会改革）

#### ／新篠津村議会

##### (1) 議員期数も年齢も若い

新篠津村議会は、1期議員6人、3期2人で議会を構成しています。また、平均年齢は53歳でした。「勉強する」「チームワーク活動」の議会を目指しているとのことです。

##### (2) 再質問から一問一答

1回目は一括質問一括答弁方式で、再質問から一問一答になります。質問3回までの時間制限なし、回数制限なしの60分を選びます。

##### (3) 勉強会に担当職員が参加

予算も決算も委員会報告は参考になる部分もあります。また、予算勉強会に担当職員が出席していることから、審議は充実するものと思われます。



新篠津村議会で研修

予算、決算時の資料要求は参考になる部分もあります。また、予算勉強会に担当職員が出席していることから、審議は充実するものと思われます。

#### まとめ

決算審査では、1回の質疑は2項目までとし、了解するまで再質問をします。なお、決算の勉強会は行つていません。

## 議長との対話室を行っています

開設日：平日

時 間：午前10時～正午

午後1時30分～午後4時

※上記以外の曜日・時間帯でも、希望があれば相談に応じます。

申し込み及び問い合わせ先：

議会事務局 ☎ 22-8123

3月定例会は6日から  
ナイター議会は  
13日に予定しています

私たちの住む町の議会です  
どなたでも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか



今の自分には、  
しがらみがな、ので  
なんでも言えます

## 西川新一さん(新町)

西川さんは陸別町生まれで、中学校時代は陸上部。3種競技で十勝3位に入賞の経験もあるそうです。本別高校に進学し、陸上で十勝新人戦優勝、その後、ラグビーで十勝大会優勝、全国大会出場など、バリバリのスポーツマンでした。

お仕事は自衛隊・レンジヤー部隊に5年、その後、町内の乳業会社に入社し定年、再雇用で65歳まで一生懸命働いてきたそうです。

「退職するまで、ここに住んでいるのに、本別のこととを人に聞かれても何もわからない。これはまずいと思った。今回、議会の折り込みチラシを見て傍聴しました」「議員は、仕事で議会にいるけれど、町民は仕事をでないのに傍聴に来ていいことを尊重してほしい」また、「人事案件は町民としてわかりにくいや議論。討論があつてもいいのでは」「議会中の府内放送は職員の仕事の手が止まってしまうのではないか」と「町の企画、計画がどのように決められるのか知りたい」などなど、

「今自分には、しがらみがないのでなんでも言えます」と明言。「コンプライアンス（法令遵守）は企業では10年前のこと。民間会社では、トップの考え方が重要。町政も同じ」と強調されました。

現在は、十勝シニアボウリング俱乐部の代表を務めているとのこと。相変わらずのスポーツマンでした。

最後に、4月、開催予定の議会の「町民懇談会・議会報告会」に参加していました。だくことを約束し、インタビューを終えました。

# 議 会 日 誌

[ 12 月 ]

- 1日 議会運営委員会、議員協議会  
5日 第4回定例会、議員協議会、  
総務常任委員会、産業厚生常任委員会、  
議員会役員会  
8日 議会運営委員会  
12日 議会運営委員会、第4回定例会(一般質問)、  
議員協議会、産業厚生常任委員会  
13日 第4回定例会(議案審議)、広報広聴常任委  
員会  
22日 池北三町行政事務組合議会定例会(足寄町)、  
十勝管内正副議長懇談会(帯広市)  
27日 議員協議会  
28日 広報広聴常任委員会

[ 1 月 ]

- 15日 広報広聴常任委員会  
22日 広報広聴常任委員会  
24日 産業厚生常任委員会所管事務調査  
26日 総務常任委員会所管事務調査  
30日 第1回臨時会、議員協議会、議会運営委員会

# 町民懇談会の 日程について

町民懇談会は、4月  
18日(水)から20日(金)  
の3日間を予定してい  
ます。

多くの市民の皆様の参加をお待ちしています。

※開催場所等は、3月中旬の新聞折込チラシ、また、ホームページ等でお知らせします。